

## 住宅用火災警報器の警報音が鳴ったら・・・

警報音が鳴った時の対処方法を知っておきましょう！



### 《火災の時》

- ▶ **大きな声**で知らせ、**消防へ通報（119番）**し**避難**しましょう。
- ▶ **初期消火**が可能なら行ないましょう。

### 《火災ではない時》

- ▶ 火災以外の煙（殺虫剤、ヘアスプレー、調理による煙や湯気、タバコの煙、ホコリなど）により、警報音が鳴ることがあります。
- ▶ **警報音停止ボタン**を押す、又は**引きひもを引く**ことで警報音は止まります。
- ▶ 室内の**換気**も行なって下さい。
- ▶ 殺虫剤（くん煙式殺虫剤や加熱蒸散殺虫剤など）を使用し、大量の煙が発生するおそれがある場合には、警報器を取り外すか、ビニール袋で覆うことで誤発報を防ぐことができます。使用後は必ず警報器を元の状態に戻してください。



### 《電池切れを忘れずに》

### 《本体の交換は10年が目安》

- ▶ 電池タイプの警報器は、電池の交換が必要です。音や光で交換時期を知らせてくれますので、新しい電池に交換してください。
  - ▶ 警報器本体は、センサー等の寿命により交換が必要になる場合があります。10年を目安にしてください。
- ※電池の寿命は、メーカーや機種によって異なります。詳しくは、取扱説明書で確認してください。



## 月に1回は点検と手入れを・・・

警報器が適切に機能するためには維持管理が重要です。「いざ」というときに警報器がきちんと作動するように、日頃から点検と手入れをしておきましょう！

### 《住宅用火災警報器が汚れていたら》

- ▶ 警報器にホコリなどが付くと火災を感知しにくくなります。乾いた布で取り除いて下さい。
- ▶ 表面の汚れは、布に水または石けん水を浸して、よく絞ってから軽く拭き取ってください。（塩素系漂白剤、ベンジン、シンナーは、絶対に使用しないでください。）

### 《作動点検をしましょう》

- ▶ 警報器本体のボタンを押す、あるいは引きひもを引くなどにより定期的に作動点検をしましょう。
- ※ メーカーや機種によって点検方法に違いがありますので、取扱説明書で確認してください。



《お問い合わせ》

消防本部総務グループ予防担当（☎85-9611）又は、消防署警備グループ保安担当（☎85-2551）